

2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 アステリア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3853 URL <https://www.asteria.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 平野 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 齊藤 裕久 TEL 03-5718-1655
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日—
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家及び個人投資家向け

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	674	0.9	158	—	163	—	114	—	114	—	74	—
2020年3月期第1四半期	668	△15.8	△72	—	△47	—	△60	—	△70	—	△172	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.95	6.95
2020年3月期第1四半期	△4.31	△4.31

(注) 基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の数値を基に算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,212	4,885	4,732	57.6
2020年3月期	8,061	4,872	4,720	58.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる各国・地域の経済動向やこれに関連する国内生産動向への影響及びこれらが当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、今後その影響等を慎重に精査し、業績予想を合理的に算出することが可能となった時点で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	17,491,265株	2020年3月期	17,491,265株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	721,757株	2020年3月期	721,757株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	16,458,704株	2020年3月期1Q	16,367,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、以下の通りインターネットでの決算説明会を開催する予定です。使用する資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、説明会の模様は、YouTube Liveによりライブ配信するほか、後日当社ウェブサイトでも公開する予定です。

2020年8月12日（水） 18：00～19：00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月～6月)における当社グループの業績は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも前年同期比で増収増益となりました。

売上収益につきましては、主力製品である「ASTERIA Warp」(アステリア ワープ)の販売が大幅に伸張し、「Handbook」(ハンドブック)の販売は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が限定的であったことから堅調に推移しました。その結果、エンタープライズとネットサービスの2つのビジネスユニットについては増収となりました。一方で、This Placeブランドで展開しているデザインサービスビジネスユニットは新規企業からの受注を獲得したものの、海外における新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、前年同期比で減収となりました。

利益につきましては、デザインサービスを提供するThis Place社(100%子会社)のコスト構造改革が奏功して黒字化したことも寄与し、営業利益は230百万円増(黒字化)、税引前四半期利益は210百万円増(黒字化)、及び親会社の所有者に帰属する四半期利益は185百万円増(黒字化)となりました。

《当社グループの取り組み》

当社グループでは、前四半期に始まった世界的な新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて積極的な対応を行っております。全ての子会社において、各国の感染状況に合わせ積極的にテレワークへ移行し、事業のスムーズな遂行と社員の安全を両立しています。

また、当社製品/サービスにおいて、全てのイベント/セミナーをオンライン化して顧客企業の感染拡大防止に努めるとともに、個別のソフトウェア製品においても、以下のような迅速な取り組みを実施しました。

- ・ Handbook : モバイルを活用した休校支援に向けた提供と事例の公開
- ・ Platio : モバイルを活用した検温アプリ、新しい生活様式アプリの提供と事例の公開
- ・ Gravio : センサーを活用した自動化による3密回避ソリューションの提供と事例の公開

今後、当面の間、当社グループにおいては、「ニューノーマル」時代において大きく成長すると考えられるクラウド(Cloud)、自動化(Automation)、遠隔化(Remote)の領域に絞った投資を行い、新型コロナウイルス感染拡大による厳しい経済状況の中でも成長を目指します。

当第1四半期連結累計期間(以下、「当第1四半期」)における連結業績は以下のとおりです。

区分	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上収益	667,949千円	674,113千円	0.9%
営業利益(△は損失)	△71,707千円	158,003千円	—%
税引前四半期利益(△は損失)	△46,657千円	162,867千円	—%
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失)	△70,489千円	114,418千円	—%

ビジネスユニット別の売上状況は以下のとおりです。
エンタープライズ

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	398,742千円	457,642千円	114.8%

<売上収益の状況>

テレワークによる営業体制が確立していたことから、緊急事態宣言発令下でもオンラインによる積極的な営業活動を展開し、大手企業における競合製品からのリプレースや、海外拠点の拡大に関わる大型案件の受注が重なりました。その結果、「ASTERIA Warp」の売上は27%の増収を記録しました。

AI搭載IoT統合エッジウェア「Gravio」は、提供デバイスラインアップにCO2センサーを追加。二酸化炭素の濃度による三密状態を判定、警告する「CO2濃度 可視化・通知統合システム」の提供を開始するなど、ニューノーマルな社会に対応する機能強化を進めています。

ネットサービス

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	76,464千円	78,058千円	102.1%

<売上収益の状況>

臨時休校の影響を受けた教育機関や、幅広い企業におけるテレワークの実施に伴い、教育コンテンツの共有基盤や会議資料のペーパーレス化などを実現するツールとして引き合いが増加し、「Handbook」は堅調に推移しました。また、モバイルアプリ制作ツール「Platio」は検温アプリなどの新しい生活様式に対応するテンプレートの拡充と期間限定の無償提供キャンペーンを実施したことで、新規顧客開拓を推進しています。

デザインサービス

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	191,177千円	136,402千円	71.3%

<売上収益の状況>

米国を中心に新規顧客開拓は進んだものの、新型コロナウイルスによる影響で観光関連産業における顧客プロジェクトの見直しが発生しました。しかし、前年度第4四半期の売上収益（136,464千円）と同程度の収益を確保し、新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウン等の影響を最小限にとどめることができています。

その他

	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比
売上収益	1,567千円	2,012千円	128.4%

<売上収益の状況>

「SnapCal」、「lino」、ブロックチェーン技術コンサルティング等のサービスによって構成されております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間における資産合計は、前連結会計年度末に比べ151,352千円増加し、8,212,361千円となりました。このうち、流動資産は221,965千円増加し、3,171,568千円となり、非流動資産は70,614千円減少し、5,040,793千円となりました。これらの主な要因は、流動資産において、現金及び現金同等物263,527千円の増加となり、非流動資産において、有形固定資産（主に使用権資産）30,824千円の減少及びその他の金融資産23,755千円の減少によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は、前連結会計年度末に比べ137,780千円増加し、3,327,254千円となりました。このうち、流動負債は51,370千円増加し、1,359,740千円となり、非流動負債は86,410千円増加し、1,967,514千円となりました。これらの主な要因は、負債において、その他の流動負債221,446千円の増加によるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間における資本は、前連結会計年度末に比べ13,572千円増加し、4,885,107千円となりました。この主な要因は、その他の資本の構成要素38,925千円の減少に対し、資本剰余金5,340千円の増加及び利益剰余金45,502千円の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末より263,527千円増加し、2,740,849千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は408,263千円（前年同期506,701千円の獲得）となりました。主に税引前四半期利益162,867千円の獲得及び営業債権及びその他の債権54,326千円の減少並びに前受金182,440千円の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は8,948千円（前年同期232,823千円の使用）となりました。主に有形固定資産の取得による支出5,836千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は129,418千円（前年同期81,611千円の使用）となりました。主に配当金の支払額61,126千円及び長期借入金の返済による支出35,700千円並びにリース負債の返済による支出33,678千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる各国・地域の経済動向やこれに関連する国内生産動向への影響及びこれらが当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、今後その影響等を慎重に精査し、業績予想を合理的に算出することが可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	2,477,322	2,740,849
営業債権及びその他の債権	342,701	286,438
棚卸資産	20,619	—
その他の流動資産	108,962	144,281
流動資産合計	2,949,603	3,171,568
非流動資産		
有形固定資産	1,082,509	1,051,685
のれん	889,870	883,336
無形資産	75,994	72,155
持分法で会計処理されている投資	331,092	322,808
その他の金融資産	2,599,818	2,576,063
その他の非流動資産	132,124	134,746
非流動資産合計	5,111,407	5,040,793
資産合計	8,061,009	8,212,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	242,800	242,800
営業債務及びその他の債務	169,137	137,727
未払法人所得税等	31,702	56,145
その他の金融負債	284,241	121,132
その他の流動負債	580,490	801,936
流動負債合計	1,308,370	1,359,740
非流動負債		
引当金	19,393	19,400
借入金	785,800	750,100
繰延税金負債	42,804	34,417
その他の金融負債	1,032,413	1,162,645
その他の非流動負債	694	953
非流動負債合計	1,881,104	1,967,514
負債合計	3,189,474	3,327,254
資本		
資本金	2,275,343	2,275,343
資本剰余金	2,474,701	2,480,040
自己株式	△537,645	△537,645
その他の資本の構成要素	△250,314	△289,239
利益剰余金	758,336	803,838
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,720,420	4,732,338
非支配持分	151,115	152,769
資本合計	4,871,535	4,885,107
負債及び資本合計	8,061,009	8,212,361

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	667,949	674,113
売上原価	259,756	124,860
売上総利益	408,193	549,253
販売費及び一般管理費	476,569	395,540
その他の収益	1,844	4,470
その他の費用	5,175	180
営業利益 (△は損失)	△71,707	158,003
金融収益	31,314	19,163
金融費用	4,685	9,648
持分法による投資損益	△1,579	△4,650
税引前四半期利益 (△は損失)	△46,657	162,867
法人所得税費用	13,228	48,605
四半期利益 (△は損失)	△59,885	114,263
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△70,489	114,418
非支配持分	10,604	△156
四半期利益 (△は損失)	△59,885	114,263
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△4.31	6.95
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△4.31	6.95

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益 (△は損失)	△59,885	114,263
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融 資産	60,683	△13,830
純損益に振り替えられることのない項目合計	60,683	△13,830
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△172,444	△26,121
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△172,444	△26,121
その他の包括利益合計	△111,761	△39,951
四半期包括利益	△171,646	74,311
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△182,250	75,493
非支配持分	10,604	△1,182
四半期包括利益	△171,646	74,311

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	資本金	資本剰余金	自己株式	在外営業 活動体の 換算差額	その他の	合計
					包括利益を 通じて公正 価値で測定 する金融資産	
千円	千円	千円	千円	千円	千円	
2019年4月1日時点の残高	2,275,343	2,577,710	△578,558	124,081	△123,658	423
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,275,343	2,577,710	△578,558	124,081	△123,658	423
四半期利益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△172,444	60,683	△111,761
四半期包括利益合計	—	—	—	△172,444	60,683	△111,761
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	15,358	—	—	—	—
子会社の設立に伴う払込	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	15,358	—	—	—	—
2019年6月30日時点の残高	2,275,343	2,593,067	△578,558	△48,363	△62,975	△111,338

親会社の所有者に帰属する
持分

	利益剰余金		非支配持分	資本合計
	合計	合計		
	千円	千円		
2019年4月1日時点の残高	1,106,763	5,381,681	7,772	5,389,453
会計方針の変更による累積的影響額	△102,221	△102,221	—	△102,221
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,004,542	5,279,461	7,772	5,287,233
四半期利益 (△は損失)	△70,489	△70,489	10,604	△59,885
その他の包括利益	—	△111,761	—	△111,761
四半期包括利益合計	△70,489	△182,250	10,604	△171,646
配当金	△67,102	△67,102	—	△67,102
株式に基づく報酬取引	—	15,358	—	15,358
子会社の設立に伴う払込	—	—	20,000	20,000
所有者との取引額合計	△67,102	△51,744	20,000	△31,744
2019年6月30日時点の残高	866,952	5,045,466	38,376	5,083,842

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		合計
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	2,275,343	2,474,701	△537,645	△70,536	△179,778	△250,314
四半期利益(△は損失)	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△25,095	△13,830	△38,925
四半期包括利益合計	—	—	—	△25,095	△13,830	△38,925
配当金	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	5,340	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△1,750	—	—	—	—
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	1,750	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	5,340	—	—	—	—
2020年6月30日時点の残高	2,275,343	2,480,040	△537,645	△95,631	△193,608	△289,239

親会社の所有者に帰属する持分

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
	千円	千円		千円
2020年4月1日時点の残高	758,336	4,720,420	151,115	4,871,535
四半期利益(△は損失)	114,418	114,418	△156	114,263
その他の包括利益	—	△38,925	△1,026	△39,951
四半期包括利益合計	114,418	75,493	△1,182	74,311
配当金	△67,166	△67,166	—	△67,166
株式に基づく報酬取引	—	5,340	—	5,340
非支配持分との取引	—	△1,750	2,837	1,086
利益剰余金から資本剰余金への振替	△1,750	—	—	—
所有者との取引額合計	△68,916	△63,576	2,837	△60,740
2020年6月30日時点の残高	803,838	4,732,338	152,769	4,885,107

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	△46,657	162,867
減価償却費及び償却費	68,065	46,178
金融収益	15,464	△19,163
金融費用	4,688	9,648
持分法による投資損益 (△は益)	1,579	4,650
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	268,953	54,326
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	60,307	△36,500
その他	212,080	206,798
小計	584,480	428,806
利息及び配当金の受取額	12,332	7,278
利息の支払額	△1,315	△2,081
法人所得税の支払額	△88,795	△25,741
営業活動によるキャッシュ・フロー	506,701	408,263
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,068	△5,836
有形固定資産の売却による収入	—	358
無形資産の取得による支出	—	△863
関連会社株式の取得による支出	△214,929	—
投資の取得による支出	△7,385	—
その他	△3,441	△2,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△232,823	△8,948
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配持分からの払込による収入	20,000	1,086
長期借入金の返済による支出	—	△35,700
リース負債の返済による支出	△36,388	△33,678
配当金の支払額	△65,223	△61,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,611	△129,418
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	192,268	269,897
現金及び現金同等物の期首残高	3,277,348	2,477,322
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△82,132	△6,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,387,484	2,740,849

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当企業集団の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、「ソフトウェア事業」および「投資事業」の2つを報告セグメントとし、2つの事業を基礎として組織が構成されております。

「ソフトウェア事業」には、「エンタープライズ」、「ネットサービス」、「デザインサービス」の3つのビジネスユニットで構成されています。

「投資事業」は、米国に拠点を置く100%子会社Asteria Vision Fund Inc.が管理する投資で構成されています。

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及び資産の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

投資事業については、前第3四半期連結会計期間より開始されたため、前第1四半期連結累計期間は、単一セグメントとなっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結
	ソフトウェア事業	投資事業	計		
	千円	千円	千円		
売上収益					
外部収益	674,113	-	674,113	-	674,113
セグメント間収益	16	6,458	6,474	△6,474	-
合計	674,129	6,458	680,587	△6,474	674,113
セグメント利益(△損失) (注) 2	155,869	△2,280	153,588	125	153,713
その他の収益及び費用					4,290
金融収益					19,163
金融費用					9,648
持分法による投資損益					△4,650
税引前四半期利益					162,867
その他の項目					
減価償却費及び償却費	46,131	48	46,178	-	46,178

(注) 1. 「調整額」は、主としてセグメント間取引消去額を表示しております。

2. セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。